

6.啓典の民の中（真理を）拒否した者も、多神教徒も、地獄の火に（投げ込まれ）て、その中に永遠に住む。これらは、衆生の中最悪の者である。

7.だが信仰して善行に勤しむ者たち、これらは、衆生の中最善の者である。

8.かれらへの報奨は、主の御許の、川が下を流れる永遠の園である。永遠にその中に住むであろう。アッラーはかれらを喜ばれ、かれらもかれに満悦する。それは主を畏れる者（への報奨）である。

SURA 99.地震章〔アッ・ザルザラ〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.大地が激しく揺れ、
- 2.大地がその重荷を投げ出し、
- 3.「かれ（大地）に何事が起ったのか。」と人が言う時。
- 4.その日（大地は）凡ての消息を語ろう、
- 5.あなたの主が啓示されたことを。
- 6.その日、人びとは分別された集団となって（地中から）進・出て、かれらの行ったことが示されるであろう。
- 7.一微塵の重さでも、善を行った者はそれを見る。
- 8.一微塵の重さでも、悪を行った者はそれを見る。

SURA 100.進撃する馬章〔アル・アーディヤート〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.吐く息荒く進撃する（馬）において（誓う）。
- 2.蹄に火花を散らし、
- 3.暁に急襲して、
- 4.砂塵を巻き上げ、
- 5.（敵の）軍勢の真っ只中に突入する時。
- 6.本当に人間は、自分の主に対し恩知らずである。
- 7.それに就き、かれは誠に証人であり、
- 8.また富を愛することに熱中する。
- 9.かれは墓の中のものが発き出される時のことを知らないのか。

10. また胸の中にあるものが、暴露されるのを。
11. 本当に主は、その日、かれらに就いて凡て知っておられる。

SURA 101. 恐れ戦く章 [アル・カーリア]

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

1. 恐れ戦く日（最後の審判）
2. 恐れ戦く日とは何か。
3. 恐れ戦く日が、何であるかをあなたに理解させるものは何か。
4. （それは）人間が飛散する蛾のようになる日。
5. また山々が、梳かれた羊毛のようになる（日である）。
6. それで、かれの秤が（善行で）重い者は、
7. 幸福で満ち足りて暮らすであろう。
8. だが秤の軽い者は、
9. 奈落が、かれの里であろう。
10. それが何であるかを、あなたに理解させるものは何か。
11. （それは）焦熱（地獄）の火。

SURA 102. 蓄積章 [アッ・タカースル]

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

1. あなたがたは（財産や息子などの）多いことを張り合って、現を抜かす。
2. 墓に追い立てられるまでも。
3. いや、やがて（死後）あなたがたは（その真実を）知ろう。
4. もう一度言おうか、いや、やがてあなたがたは知ろう。
5. いや、あなたがたは（今に）はっきり知るとよいのである。
6. あなたがたは必ず獄火を見よう。
7. その時あなたがたはそれを明確に目で見ることであろう。
8. その日あなたがたは、（現を抜かしていた）享楽に就いて、必ず問われるであろう。

SURA 103. 時間章 [アル・アスル]

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。